

公 民 [倫 理] (100 点 50 分)

2003 年 10 月 17 日 (金) 2 限実施

千葉県立千葉東高等学校 第 3 学年 1,3,4,5,6,7,8,9 組対象

Produced by K.Kataoka

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
 - 学年，組，名前を記入する。
 - 学年，組の該当個所をマークする。
 - 出席番号をマークする。(10 番以上は 10 の位と 1 の位の 2 カ所)
 - 男女の欄をマークする
 - 1.2.3 枚目のところはマークしない。
 - 停・欠・遅・早のところはマークしない。
 - 機械の読みとりミス確認のため、解答欄はマークの左側に番号を記入しておく。以上が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

倫 理

(解答番号 [1] ~ [50])

第 1 問 次の文章を読み下の問い (問 1 ~ 問 1 2) に答えよ。(配点 24)

仏教は 6 世紀に日本に伝えられて以来、日本人の主要な宗教の一つとして日本人の心のささえとなってきた。仏教に対してはじめて深い理解を示したのは、聖徳太子であった。太子は、仏教をあらゆる人々や国々がしたがうべき普遍的真理ととらえ、その興隆に努めた。太子は、当時の政治の現実をふまえ、人間関係における「和」の必要を力説したが、その思想的よりどころとなったのが、仏教であった。「十七条憲法」で太子は、「和」の実現のためにわれわれはみな「ともに [1] なるのみ」という仏教の教えにもとづいた謙虚な自己反省が必要であると説いている。

平安時代になると、最澄が天台宗を、空海が真言宗をそれぞれ大陸から学び、新しい日本的な仏教としてひろめている。最澄は、(a)『法華経』の教えにもとづいて、[2] という考えを、仏教の根本精神として主張している。最澄の天台宗の教えには、真言密教や禅、さらには浄土宗につながる教えなど、さまざまな要素がふくまれており、複合的・総合的な教えとして、のちの (b)法然・(c)親鸞・(d)栄西・(e)道元・(f)日蓮らの鎌倉新仏教が生み出される際の母体となっている。

また空海は、われわれの生や宇宙の根底に働いている不可思議な統一的働きを、(g)大日如来という大いなる仏の働きであると教える。宇宙のあらゆる事象は、この大いなる仏の働きのあらわれであるから、われわれもまた真言密教の教える修行をするならば、[3] と説いている。空海のごうした教えにも、宇宙や自然と融和し一体化しようとした日本人古来の宗教的心情を見いだすことができる。

浄土信仰とは、この現世は苦しみに満ちた穢れた世界であるが、阿弥陀仏の慈悲の力によって、西方の楽しみに満ちた浄らかな世界(極楽浄土)に往って生まれる(往生する)ことができるという信仰である。この信仰はすでに (h)奈良時代に日本に伝えられていたが、平安時代の後半になって貴族政治が動揺し戦乱があいつぎ社会不安が増大するとともに、急速に人々の間にひろまった。[4] は『往生要集』を著して、「厭離穢土、欣求浄土(この穢れた世界を厭い離れて極楽浄土を欣んで求めよ)」と説いてこれをひろめた。

問 1 文中の [1] に入る最も適当な言葉を、次の ~ のうちから一つ選べ。

如 来 菩 薩 凡 夫 信 徒

問2 文中の [2] に入る説明文として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。

- 菩薩・縁覚・声聞の三乗が真実の教えである
- すべて生あるものは仏となる可能性を備えている
- 世の中は虚しく、ただ仏のみこれ真である
- 大乘戒ではなく、具足戒こそが正しい戒律である

問3 文中の [3] に入る説明文として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。

- この身のままに仏の働きと一体化できる
- 宇宙の真理を認識することができる
- 人間は本来さどっているということを知ることができる
- 一切衆生の救済という本願を成就できる

問4 文文中の [4] に入る人名として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。

- 空 也 一 遍 行 基 源 信

問5 下線部(a)に関連して、諸経典は様々な仏の物語や教えを説いているが、『法華経』の仏の説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [5]

2003年センター本試験より

釈迦没後 56 億 7 千万年を経てこの世に出現し、釈迦による救済に漏れた人々を救うと予定されている仏で、すでに修行を完成して兜率天に待機中とされる。

永遠の生命を持ち、はるかな過去にすでに悟りを開いていたこの仏は、仮に有限な人の姿をとってこの世に現れ、釈迦仏として人々のために説法したとされる。

あまねく世界を照らす太陽にたとえられるこの仏は、仏の悟りの境地そのものを仏として捉えたもので、宇宙に充滿してあらゆる仏や菩薩を包摂するとされる。

かつて法蔵という名の修行者であったとき、一切衆生の救済を願って四十八の誓い（本願）を立て、途方もなく長い間修行を重ねた末、すべての誓いを成就したとされる。

問6 下線部(b)に関連して、法然の思想の説明として、適当でないものを次の ~ の中から一つ選べ。[6]

西方極楽浄土に生まれたいと願い、南無阿弥陀仏と称名する者をことごとく往生させることが阿弥陀如来の本願である。

この時代は末法の世界ではなく、ただひたすら念仏に打ち込むという自力の修行によって成仏を果たすことができる。

聖道門は煩悩にまみれた者の救済には無用であり、念仏こそが正定で、仏の慈悲の力によって救われる道である。

日ごろ念仏を唱えて極楽へ往生したいという心があるならば、臨終に仏の来迎があるのは間違いはない。

問7 下線部(c)に関連して、親鸞の「自然法爾」の思想をあらわす言葉として最も適切なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[7] 1997 センター本試験より

悪を懲らし善を勧むるは、古(いにしえ)の良典(よきのり)なり。ここを以て、人の善をかくすことなく、悪を見ては必ずただせ。

貪欲なからんと思はば、先づ須く吾我を離るべきなり。吾我を離るるには、無常を觀ずる是れ第一の用心なり。

しからしむといふは、行者のはじめてともかくもはからはざるに、過去・今生・未来の一切の罪を転ず。

法華經流布の国に生まれて、この經の題名を聞いて信を生ずるは、宿善の深厚なるに依れり。

問8 下線部(d)に関連して、栄西の著作として適切なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[8]

正法眼蔵

立正安国論

教行信証

興禅護国論

問9 下線部(e)に関連して、道元の思想の説明として、適当でないものを次の ~ の中から一つ選べ。[9]

仏祖の道はただ坐禅である。他のことに従ってはならない。

人間は皆、仏法の器であり、それをなす力量がないと思ってはならない。

仏道を習うということは、自己を習うということである。

仏になろうとするよりも、仏でいることが造作のない近道である。

問 1 0 下線部(f)に関連して、日蓮の思想や行動の説明として最も適当なものを、次の
～の中から一つ選べ。[10]

南無妙法蓮華經の七字の題目を受持するものは、浄瑠璃浄土に往生できるとした。

浄土宗以外の他宗派を、正法に反する邪教として厳しく論難した。

法華經による仏国土実現を否定し、個人的な信仰で法華經に帰依することを説いた。

多くの迫害の体験を通じて、「法華經の行者」としての自覚を深めて邪宗を折伏した。

問 1 1 下線部(g)に関連して、大日如来が天照大神の本地であるとする、真言宗系の神道
として最も適当なものを、次の～の中から一つ選べ。[11]

両部神道

伊勢神道

山王神道

吉田神道

問 1 2 下線部(h)に関連して、「すべての事物はその本質(自性)をもたないという意味で
空であり、実在ではない」とする思想を主として研究する南都仏教の宗派として最も
適当なものを、次の～の中から一つ選べ。[12]

華嚴宗

三論宗

法相宗

律宗

第2問 次の文章を読み下の問い(問1～問16)に答えよ。(配点40)

和辻哲郎は1889年兵庫県の医家に生まれた。姫路中学生であったころは、バイロンのような詩人になるのを夢みていたが、旧制第一高等学校生徒時代、先輩の魚住影雄から万学の基礎である哲学を学ぶように勧められ、東京帝国大学文科大学哲学科に進んだ。大学を卒業した翌年(1913)『ニイチェ研究』を公刊し、ついで『ゼエレン・キェルケゴオル』(1915)を出し、わが国における西欧実存哲学研究の先駆者となった。

しかし、29歳の年の初めごろから、対象に即する思惟への傾向を強め、祖先の生活を見つめようとする動機から大和の地を訪ね、古寺巡礼の旅をした。その旅行記が『古寺巡礼』(1919)で、この旅行によって、飛鳥・奈良時代の彫刻・建築のような偉大な芸術を創造した日本人は何者であったかという疑問に追い立てられた。この疑問に答えたのが『日本古代文化』(1920)に始まる一連の日本精神史、日本文化史の研究『日本精神史研究』(1926)、『続日本精神史研究』(1935)、『日本倫理思想史』(1952)などである。その中で和辻は、(a)天皇を祭司とした古代の祭事を通して国民的信仰と「国民」意識が成立したことを説いている

1934年(昭和9)、それまで8年余勤務した京都大学から東京大学へ転任したが、京都時代の末期から形成されつつあった倫理学の体系的研究が結実して『倫理学』三巻(1937～49)となった。このなかでは、教育勅語の各部分と照らし合わせながら、(b)儒教道徳的な徳を分析している。またそれに先だって『人間の学としての倫理学』(1934)に人と人との[13]が倫理であるという新しい解釈がなされ、海外旅行の体験を踏まえて編み出された(c)『風土』(1935)の理論も「[14]学的考察」という副題が付されている。

このような和辻の思想は、日本文化の特質を鋭くとらえた思想家として積極的に評価される側面と、(d)超国家主義につながる天皇制のイデオログとして指弾されるという2つの側面をもつものであった。

問1 文中の[13] [14]に入る最も適当な言葉を、次の～のうちから一つずつ選べ。

[13] 関係 契約 間柄 意識

[14] 儒 人間 論理 地理

問2 下線部(a)に関連して、『古事記』、『日本書紀』にあらわされた、日本古代の神々の性質として間違っているものを、次の～のうちから一つ選べ。[15]

崇(たた)りを与えるものもある 自然の中に宿るものもある
唯一最高の究極神もある 人格的なものもある

問3 古事記などに描かれる「清明心」の説明として最も適当なものを、次の～の中から一つ選べ。[16]

- つねに理にしたがうことを求め、私利私欲をいましめる心
- 不足の状態のなかに見いだす、簡素で閑寂なおもむきのある心
- 柔和で弱々しそうな、へりくだって人と争わない心
- 自然のようにきよらかな、神に対してあざむきやいつわるところのない心

問4 日本古代の精神を万葉集の中から明らかにしようとした賀茂真淵の思想についての説明として最も適当なものを、次の～の中から一つ選べ。[17]

著作『万葉代匠記』の中で、万葉集を「古ノ人ノ心ニ成テ」読むことを主眼とする注釈をほどこした。

万葉の歌の中に仏教思想に見られる「無常観」に通じる心を見いだし、苦しみを乗り越える「ますらおぶり」を理想とした。

儒家思想を「漢意」として批判し、日本古来の「大和心」を学ぶことこそ正しい古(いにしえ)の道であるとした。

「ますらおぶり」に日本の心の典型を見て、「高き直き心」を理想として現実の政教を正そうとした。

問5 本居宣長の「もののあはれを知る心」の説明として最も適当なものを、次の～の中から一つ選べ。[18] 1988年共通一次追試験より

- 物事を、もっぱら悲しみという感情でとらえる心
- 物事にふれて生ずる感情に、素直にしたがう心
- 物事を、善悪のけじめをつけて判断する心
- 物事の本質を、法則的客観的に把握する心

問6 平田篤胤の思想についての説明として間違っているものを、次の～の中から一つ選べ。[19]

- 日本神話の皇国の道を世界の普遍的な原理であるとした。
- 古道の神学化を強力にすすめて復古神道を完成させた。
- 漢字伝来以前の日本に神代文字が存在したことを主張した。
- 古事記の注釈書を著して日本に伝わる惟神の道を理想とした。

問7 下線部(b)に関連して、林羅山が主張した「上下定分の理」の根拠として最も適当な説を次の～の中から一つ選べ。[20]

- 心即理
- 万物斉同
- 致良知
- 居敬窮理

問8 山崎闇斎の垂加神道の説明として最も適当なものを，次の ~ の中から一つ選べ。

[21]

仏教と民俗信仰を抑圧して，記紀神話と皇室崇拜にかかわる神々を崇敬することで宗教生活の統合をはかろうとした。

儒教，道教，仏教やキリスト教の知識を援用して神道学説を体系化して皇国の優越性を主張した。

中国の朱子学における道は，日本では神道として顕現する道と同じものであるととらえた。

仏菩薩と日本の神々との関係を明らかにし，日本の神々がインドに渡って仏菩薩となったことを主張した。

問9 次の文が説明している思想家として適当なものを，下の ~ の中から一つ選べ。

[22]

江戸前期から中期の朱子学者，博物学者，庶民教育家。敬天思想に基づく人間平等観の立場煮立ち，『養生訓』など多くの教訓書や本草学の書物を残した。

貝原 益軒

藤原 惺窩

木下 順庵

佐藤 直方

問10 日本の儒家思想家，熊沢蕃山と雨森芳州の説明として最も適当なものを，次の ~ の中からそれぞれ一つずつ選べ。熊沢蕃山については [23] に，雨森芳州については [24] に答えよ。

木下順庵の推挙により津島藩に仕え，朝鮮通信使の来日に際しては書記として江戸に同行し，「誠信」を根本とする外交関係を求めた。

木下順庵に師事したのち，幕政に参加して文治主義政治の推進につとめ，徳川将軍の絶対君主化を説いた。

中江藤樹に学んでのち，岡山藩の藩政改革に加わり「時・処・位」論を発展させて『集義和書』を著した。

京都相国寺で禅学に励んでのち，儒学者の立場を確立して徳川家康に儒教を講義したが，任官には応じず弟子を推挙した。

加賀藩に出仕ののち，幕府儒官，将軍徳川綱吉の侍講となり，寛容な学風で教育者としてすぐれ，林家を凌駕するほどの学派を形成した。

山崎闇斎に学ぶが，その敬内義外説や神道学説には反対の立場をとって朱子学の立場を守っていたため破門された。

問 1 1 中江藤樹の著作『翁問答』の中の言葉として、最も適当なものを次の ~ の中から一つ選べ。[25]

誠は人の道の全体である。だから聖人の学問は必ず誠を根本としている。そしてその教えのあらゆる言葉は、すべて人に誠を尽くさせるためのものである。

養生の道は元気をたもつことが根本である。元気をたもつ道は二つある。元気を害するものを取り除くことと元気を養うことのそれである。

万物を生み出す宇宙の生成の原理である孝が、人間の日常生活にあらわれたところを手近に名づけていえば、愛敬という二字にまとめることができる。

ものごとを学んでも自分で考えなくては、はっきりしない。自分で考えても学ばなくては、独断におちいって危険だ。

問 1 2 山鹿素行の著書を、次の ~ の中から一つ選べ。[26]

葉 隠 聖教要録 弁 道 語孟字義

問 1 3 伊藤仁斎は、何事も「理」に則って決断することに対してどのように考えたか、最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[27] 1990年センター本試験

人は道理に従うものであるから恨みをかうことはない。

人を単に愛したのではなく、人を正しく愛したことになる。

社会から不正がなくなる。

他者の過ちを許そうとしない酷薄な心がまさってくる。

私に左右されない公平な精神が獲得できる。

問 1 4 荻生徂徠の言葉として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[28]

天と地の精気は重合して陰陽をつくり、四時それぞれの精気が散布して万物をつくった。

孔子の道は先王の道である。先王の道とは天下を安泰にするための道である。

仁は究極のところは愛につきる。愛は実体のある徳である。

人の身の中にある宝は、天にあっては天道、地にあっては地の道、人にあっては人の道となるものである。

問15 p.6 下線部(c)に関連して、和辻哲郎の『風土』の中に描かれている思想についての説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[29]

沙漠型の風土の中で、外なる自然は死の脅威をもって人間に迫ってくるため、人々は自然の厳しさに対して受容的・忍従的傾向をもつようになる。

ヨーロッパの牧場型の風土の中で、人々は従順な自然を支配する中から自然の合理性や法則性を見出してきた。

東アジアのモンスーン型の風土は、暑熱と湿気の結合を特性とし、人々は自然の恵みを争って、対抗的・戦闘的傾向をもつようになる。

風土とは地形と気候の複合体であり、人間がそれに働きかけて生活に役立てるための自然環境である。

問16 p.6 下線部(d)に関連して、日本のナショナリズムに関する次の文中の空欄 30] ~ [32]に入る最も適当な人名を、下の ~ のうちから一つずつ選べ。

明治初年、日本は西洋先進諸国に追いつき、独立を維持するために、西洋文明を取り入れて文明開化をおしすすめ、富国強兵をはかった。明治10年代の終わり頃には、条約改正の必要から「鹿鳴館時代」といわれる極端な欧化主義の風俗が流行した。[30]や志賀重昂らは雑誌『日本人』を創刊して、これを批判し国粹主義を唱えたが、これから以後、日本の伝統を再評価し、尊重していこうとする日本主義の動きがあらわれた。

日本主義の主張は、道德の面においては日本の伝統に適した国民道德を求める動きとなり、[31]は儒教道德と西洋思想を折衷した『日本道德論』を唱えた。また、明治23(1890)年には国民道德のあり方を示すものとして「教育勅語」が發布され、忠孝を中心徳目とし、天照大神ら神々や歴代天皇によってつくられた日本独自の国体に教育の根源があるとされた。

昭和に入ると経済不況などから社会の矛盾が激しくなり、軍部が権力を握って、自由な言論を弾圧するに至った。そのきっかけの一つとなった昭和11(1936)年の二・二六事件の思想的根拠となったのが[32]の『日本改造法案大綱』であり、そこには天皇を奉じたクーデタによる国家改造と、日本の剣の福音によるアジア解放とを通じて大革命帝國を建設することが提示され、国家改造と対外侵略とを結びつけたファシズム思想が打ち出されていた。

徳富蘇峰	西村茂樹	元田永孚	三宅雪嶺
高山樗牛	陸 羯南	北 一輝	岡倉天心

第3問 次の文章を読み下の問い(問1～問17)に答えよ。(配点 36)

私たちが何げなく使っている学問上・思想上の言葉の多くは、明治時代に西洋の概念の翻訳語として登場したものである。それらの言葉の中で、古くから使用されていたものには、それまでと異なった意味内容が付与されることがあった。ここでは「自由」という言葉を例にして、その問題を考えてみよう。

従来、「勝手、気まま」というような意味の用例が多かった自由という言葉が翻訳語として定着したのは、明治の初め、[33]がJ.S.ミルの著書 On Liberty を『自由之理』と訳した後だといわれている。(a)明治の啓蒙思想家にとって自由は、天賦人權論の基底をなし、人々を封建的身分から解放するものであった。それはさらに、新政府の圧政からの解放と人民の権利の伸長を求めた自由民権運動に理論的根拠を与えた。運動の理論的指導者の一人である (b)植木枝盛は、私擬憲法案を起草して、人民の自由が侵害されたときの抵抗・革命の権利を主張した。しかし、民権運動が求めた自由は、単に圧政からの解放を意味するだけではなかった。(c)中江兆民は、外の権威にも、内の欲望にも妨げられない「心思の自由」の涵養を求め、そこに理想社会を形成する人間の主体性を認めていたのである。

自由民権運動の衰退の中で、自由の追求は、文学の領域でもさらに展開されていく。北村透谷は、「想世界」に根源的な内部生命を認め、その横溢に現実世界に対する自己の自由の立脚点を求めた。こうした考え方は、個性や感情を尊重する [34] 運動として展開していく。また、(d)夏目漱石は、他人に左右されない「自己本位」を自らの個人主義の根拠とした。これは個人の自由に基づく近代的自我の確立を主張したものだといえるだろう。だがこの主張は、自我と、他者や社会との間の葛藤をいかに解決するかという課題をもたらすことにもなった。

一方、(e)明治のキリスト者たちは、神の前に一人立つ人格の独立に自由を求めた。それは自らを超越的な神にゆだねる自由であり、そのため地上的な権威を相対化する可能性もはらんでいた。たとえば (f)内村鑑三は、外的な権威に従属することを徹底して排し、教会や儀式にとらわれない、直接聖書に基づく信仰を唱えたが、その信仰は国家との軋轢を生み出しかねないものだったのである。

このようにみると、自由という言葉は、西洋文化と出会うことによって、その内容をより豊かにしていったといえるだろう。新たに移入された自由は、[A] だったのである。

問1 文中の [33] に入る人名を、次の ~ のうちから一つ選べ。

森 有礼 西 周 加藤弘之 中村正直

問2 文中の [34] に入れるのに最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。

自然主義 浪漫主義 白樺派 教養主義

問3 明治以前の日本の思想家，石田梅岩の思想の説明として間違っているものを，次の～のうちから一つ選べ。[35]

欲を押さえ，情を制して勤める儉約や推譲などの「人道」は作為の道であり，自然の道としての「天道」とは異なる。

経済生活上の技術的な徳とされていた「儉約」は，日本の伝統的な主徳として尊重されてきた「正直」の徳に一致する。

利潤追求を「天理」として，商人の売利は武士の俸禄と同等のものと説き，商人の社会的役割の意義を積極的に肯定した。

人の「性」はみな「天」より受け得たもので「全体一箇の小天地」であり，本質的に四民（土農工商）の差別はない。

問4 江戸中期の自然哲学者三浦梅園の著作として適当なものを次の～のうちから一つ選べ。[36]

出定後語 都鄙問答 玄 語 自然真営道

問5 江戸時代の蘭学や洋学の発達を具体的に示すことがらとして最も適当なものを，次の～のうちから一つ選べ。[37] 1995年センター追試験より

欧米のアジア進出に対する危機感から，西洋に対抗するためには，西洋の科学技術を積極的に導入すべきだと，開国論を唱えた。

すべての人が直接に生産活動に携わり自給自足する，搾取のない平等な社会を理想として，封建社会を否定した。

個々人が西洋文明の精神を学び一身の独立をはかることが，欧米列強の中で国の独立を守ることに繋がると主張した。

仏教は，現世を離脱することだけを求め，この世における日常的な人間関係をないがしろにするものであると，仏教批判を展開した。

問6 次の【イ】【ロ】は誰の言葉か，適当な人名を下の～から一つずつ選び，【イ】については[38]に，【ロ】については[39]に答えよ。

【イ】「堯舜孔子の道を明らかにし，西洋器械の術を尽くさば，なんぞ富国にとどまらん」

【ロ】「今の幕府も諸侯も，もはや酔人なれば扶持の術なし。草莽崛起の人を望む外頼みなし」

高野長英

横井小楠

佐久間象山

渡辺崋山

中江兆民

吉田松陰

問7 下線部(a)に関連して、日本の啓蒙思想家、福沢諭吉の言葉として間違っているものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[40]

学問とは……世間における実生活に役立たない文学のことではない。…このような実生活に役立たない学問は後にまわして、人間の日常生活に役立つ実学をもつばら学ぶべきである。

独立の気力のないものは、国家を思うことも切実ではない。独立とは自分で自分の身を支配し、他人に頼る心がないことである。自分で物事のよしあしを判断して誤らずに行動するものは、他人の知恵にたよらずに独立している。

天から人が生まれるのだから、万人はみな平等な位で、生まれながらに貴賤上下の差別がなく、万物の霊長としての心と体を働かせて、自然にある様々なものを使って衣食住に役立て、自由自在に、互いに他人の妨げをせず、ひとりひとりが幸福にこの世を生きてゆくというのが、天の趣旨である。

政府がほしいままに国家の憲法に背き、ほしいままに人民の権利を侵害し、建国の趣旨を妨げるときには、日本国民はこれを覆滅して(滅ぼして)、新政府を建設することができる。

問8 下線部(b)に関連して、植木枝盛の著作を次の ~ のうちから一つ選べ。[41]

民権自由論 民約訳解 社会主義神髄 貧乏物語

問9 下線部(c)に関連して、中江兆民の『三酔人経綸問答』の中で展開された考え方を述べた文として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[42] 1999年センター本試験より

為政者が人民に権利を恵み与えることはありえないから、人民は為政者から権利を獲得するための闘争をしなくてはならない。

為政者は人民に権利を恵み与えるべきであり、また一方、人民はそれを大切に守り、自己の義務を果たしていかななくてはならない。

為政者は人民に恵み与えた権利を実質的なものにしていくために、国家主義的な教育をすすめて、人民を啓蒙していかななくてはならない。

為政者が人民に恵み与えた権利であっても、人民はそれを育てていってその権利を実質的なものに変えていかななくてはならない。

問10 下線部(d)に関連して、夏目漱石の主張する個人主義の説明として間違っているものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[43]

自己の個性の発展をしとげようとするならば、同時に他人の個性も尊重しなければならない。

自己の所有している権力を使用しようと思うならば、それに付随している義務というものを心得なければならない。

自己の考えを持とうとするならば、それに応じた文学的な教養を身につけて世間にそれを知ってもらわねばならない。

自己の金力を示そうと願うなら、それに伴う責任を重んじなければならない。

問11 下線部(e)に関連して、新渡戸稲造の言葉として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[44]

戦争が戦争を止めた例はない

太平洋の橋になりたい

国家主義は私造貨幣である

武士道に接木されたキリスト教

問12 下線部(f)に関連して内村鑑三の思想をあらわす言葉として最も適当なものを、下の ~ のうちから一つ選べ。[45]

ピューリタニズム 無教会主義

キリスト教的社会主義 クラーク主義

問13 次の説明文があらわす人物は誰か、下の ~ のうちから一つ選べ。[46]

中江兆民の思想的な影響のもとに『孟子』などの儒教的な倫理観とともにサンディカリズム(労働組合運動)やアナーキズム(無政府主義)を含む広義の社会主義思想を受容して、天皇制の廃止とゼネラル・ストライキによる直接行動論を提唱し、大逆事件で処刑された。

片山 潜 河上 肇 安部磯雄 幸徳秋水

問14 次の思想を展開した人物は誰か、下の ~ のうちから一つ選べ。[47]

われわれが憲政の根底とするものは、政治において一般民衆を重んじ、その間に貴賤上下の差別をせず、しかも国家の体制が君主制か共和制かを問わず、普遍的に通用する主義である。

柳田国男 田中正造 吉野作造 南方熊楠

問15 「元始，女性は実に太陽であった。真正の人であった」とは，平塚らいてうが『青鞜』の発刊に際して述べたものである。らいてうのこの言葉の意味として最も適当なものを，次の ～ のうちから一つ選べ。[48] 2000年センター追試より

元来，女性は愛によって子や男たちを育てていた。母性こそは真に人間を動かす生命力であり，これに目覚めなければならない。

原始時代には，人間の生活は女性中心に営まれていた。主導権を男性の手にゆだねず，女性中心の社会に改革していかなければならない。

天照大神が女性であるように，日本にも元来女性崇拜の伝統があった。その伝統を掘り起こして新しい女性の美を発見しなければならない。

女性には輝かしい天性の能力が潜んでいる。男性に依存してひ弱になることなく，その能力を発揮して生きなければならない。

問16 次の文は『善の研究』という本の一部分である。文中の□に入る言葉として最も適当なものを，下の ～ のうちから一つ選べ。[49]

「□においてはいまだ知情意の分離なく，唯一の活動であるように，また未だ主観客観の対立もない。」

絶対無 不立文字 相互否定性 純粹経験

問17 p.11の本文の趣旨に照らして，文中の[A]に入れるのに最も適当なものを，下の ～ のうちから一つ選べ。[50] 1999年センター本試験より

気ままさや奔放さに向かいがちな生き方を律し，感情や欲望を厳しく抑制することによって近代的自我を確立して，外的な権威や権力からの解放を達成しようとするもの。

外的な権威や権力からの解放を意味するばかりではなく，天賦人權の無制限な行使と，欲望や感情の無制約な発露に，近代的自我の主體的な生き方を求めようとするもの。

理想社会の建設に積極的に関わり，他者や社会との間に対立や葛藤を生まない協調的な自己を確立することで，外的な権威や権力からの解放をめざそうとするもの。

外的な権威や権力からの解放を意味するばかりではなく，理想社会の建設や自己の内面の確立において，人間の自主的・主體的な生き方を求めようとするもの。

以上!